ニュース・レター NO8

2010年4月号

おやじ日本

おやじ日本の新たな挑戦

NPO 法人おやじ日本理事長　竹花　豊

写真提供：愛知おやじサミット　協力：渡辺　嘉郎氏

新学期を迎え、学校は新しい息吹で包まれています。その張り詰めた雰囲気を、大昔のこととは言え、まざまざと思い出します。

さて、その学校、特に公立学校に対して向けられた世間の不信は、ここ数年の間、国を挙げての課題とされ、教育基本法の改正等の動きに結びつきました。しかし、子どもたちの学力の低下や体力の低下、諸外国に比べての自尊心の低さ等の問題の根本的な解決の方向を見出せないでいるように見えます。

特に、東京では、子どもが小学校高学年になれば、私立の中学校に行かせたほうが良いのではと悩み始める保護者がたくさんおられます。私学の建学の精神やカリキュラムの独自性を気に入って私学を選択することはもちろんあってよいと思いますが、公立中学では学力向上に不安があるとかいじめがこわいなどといった理由で、公立中学校への進学をためらわれる保護者も少なからずおられます。私学は土曜日も授業があるのに、なぜ公立は学校5日制にこだわるのかといわれる方は少なくありません。

ところが、この問題を正面から取り上げ、問題があれば解決しようという動きは、私の知る限り、十分ではありません。

おやじ日本の正会員の中にも、ご自分の子どもたちの進学をめぐって迷われた方もおり、この問題をもっとクリアーにし、多くの方々との議論を巻き起こしていくことが大切だという強力な意見が出てきました。

そこで、議論を重ね、ご協力いただける小・中学校の先生やNHKの解説委員の方、文部科学省の高官等の内諾をいただき、この6月20日の第7回おやじ日本全国大会では、渋谷区にも共催いただき、徹底バトルをやることにしました。

まじめすぎる大会？にならないように一工夫したいと知恵を凝らしています。皆さんのご参加をお待ちしております。また、こんなところでお願いするのも気が引けますが、多くの事業者、個人のご協力、ご賛助を心よりお願い申し上げます。

平成２２年度全国大会日程決定！

第７回全国大会

趣旨：多くのおやじ達が、公教育の現状に不安、不満を抱いている。例えば、学力低下が叫ばれる中で、なぜ公立だけ5日制にこだわるのか、学力の多様な生徒に、一律に平均的な授業をすることが生徒の学力向上にとって良いことなのか、部活は大切だと思うのに及び腰の学校が多いのはなぜなのか、家庭の教育力の低下が顕著になっている中で学校はもっと親にものを言うべきではないか等々。これらの問題は誰もが疑問に思っていることなのに、これまで率直な議論がなされてこなかった。グローバル化の中、ますます厳しくなる次の社会を担う子どもたちに対する大人の責任を果たす上でも、避けて通ることのできない公教育の根本問題を議論し、広く世論を喚起するとともに、課題解決のきっかけを作りたい。

日時：平成22年6月20日（日）午後1時30分～4時30分

会場（交渉中）：千駄ヶ谷区民会館　渋谷区神宮前1－1－10

→詳細はP6をご覧ください。

第８回全国大会

日時：平成22年11月6日（土）、7日（日）

会場：山形国際ホテル

主催：おやじ日本山形　NPO 法人おやじ日本

「おやじたちの争点ー学校と家庭のコミュニケーションを深めるために」
ー話そうじゃないか、おやじ！先生と。
学校五日制、塾、部活、ネットワークゲーム問題ー

2月13日（土）午後2時より、渋谷区勤労福祉会館2階第一洋室にて、情報交換会が開催されました。これは、6月20日（日）に開催予定の「第7回おやじ日本全国大会」の準備企画第2弾となるもので、渋谷区委託協定対象事業として実施したものです。今回はパネリストとして、渋谷区教育長池山世津子氏をはじめ、現役公立小中学校の校長先生方をお招きし、約80名の参加者とともに、活発な意見が交換されました。

←約80名の参加者で熱気に包まれた会場

↓開会の挨拶をする竹花理事長

子どもたちへの熱い思いを語るパネリストの皆様

小澤良一氏（渋谷区立富谷小学校長）
大久保俊輝氏（鎌ヶ谷市立西部小学校長）
池山世津子氏（渋谷区教育長）
阿部陽一氏（世田谷立富士中学校長）
大字弘一郎氏（渋谷区教育委員会事務局統括指導主事）

パネリストプロフィール

池山世津子氏
渋谷区教育長
平成17年11月から現職。（平成21年11月に2期目）。
平成6年企画部情報公開担当副参事。
平成8年福祉部保護課長。平成12年4月保健衛生部管理課長。
平成14年福祉部長兼福祉事務所長を経て現在に至る。

小澤良一氏
渋谷区立富谷小学校長

平成 20 年より現職。千駄谷・常磐松・幡代各小学校に合わせて 12 年勤務。豊島区、町田市各教育委員会、八王子市立長池小学校長経て 11 年ぶりに渋谷区にて富谷小学校長に就任。

大久保俊輝氏
千葉県鎌ヶ谷市立西部小学校長

平成 19 年より現職。前任校船橋市立三山東小学校に続き、地域、保護者と協力し、伝統技術「上総掘り」で井戸を掘りビオトープを作る活動に取り組む。また、教職を目指す学生と課題のある子どもたちを連れて富士登山をする活動にも従事されている。

大字弘一郎氏
渋谷区教育委員会事務局
教育政策担当統括指導主事

平成 21 年より現職。大田区、港区で小学校教諭として 14 年勤務。葛飾区教育委員会指導主事、渋谷区立本町小学校副校長を経て現職。現在、小中一貫教育校、幼児教育プログラム、土曜・放課後学習クラブ(まなび～)等を担当。

阿部陽一氏
世田谷区立富士中学校長

平成18年12月1日より現職。「確かな学力・総合力」の育成を目指し教育活動に取り組む。世田谷区教育委員会より「研究課題校」「情報教育研究開発校」「ICT活用教育センター校」「地域運営学校」「せたがや学校エコライフ活動認定校」、文部科学省より「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校」の指定を受け研究を進める。

↑会場のおやじ達から普段子ども達と接していて感じている様々の思い、教育現場への意見が沢山出されました。

↑子どもたち、家庭が抱えている諸問題に学校はどのように対処していく体制をとっているのかなどの質問が多数出ました。

コーディネーター

竹花　豊
NPO 法人おやじ日本理事長

特定非営利活動法人おやじ日本理事長　東京都教育委員　パナソニック株式会社常務役員　元東京都副知事(緊急治安対策本部長・青少年育成総合対策本部長)　著書「子どもたちを救おう」他

←パネルディスカッション後は各テーブルに分かれて意見交換。

↑パネリストの先生方を交え、学校教育への期待を語り合う参加者の皆さん

情報交換会出席者から

登録会員　佐原啓仁さん

↑おやじ達の真剣な気持ちが伝わってきました。

争いごとを減らすために人と人との相互理解を深めるための仕事をしよう-。今の職業を選んだ動機のひとつである。この日の会合も、自分が記者という仕事を目指した出発点に戻る大切な機会になった。

「情報交換会」という名称は、会合の目的がよく現れていると思う。教師とそれ以外のさまざまな立場の人たちが自分の思いや経験について語り合い、理解を深められたのではないか。

小さな班に分かれて語り合う第2部にも参加させていただいた。PTA役員を経験し、おやじの会で活動しているという方から、「学校のことを知れば知るほど学校は大変だと思う」との言葉を聞いた。これは、記者として学校のころのことを知らないうちは学校は大変だとは思わない」ということになるだろう。または、学校側からは、「家庭や地域社会のことを知れば知るほど家庭や地域社会は大変だと思う」ということになるのかもしれない。

日本教育新聞に書いた記事では、参加者の間で理解を深め合う様子をうまく描ききれなかった。力不足だった。しかし、実際にあの場に参加された方の中には、初対面でありながら深夜まで酒を酌み交わした一団もあったと聞く。

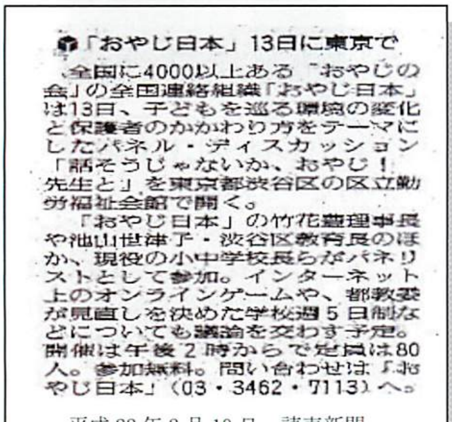
新しい仲間が増えた方は多かったのではないだろうか。

記者として、このような会合に参加する際は、どの程度、自分の考えを語ってよいものか迷う。記者は話を聞くことが仕事だからである。しかし、第2部に入って机を囲んでからは少しだけ語らせていただいた。

昨年4月から妻と共に自治会の班長となり、私たちを含めた16世帯のお世話係をするという貴重な機会を得た。他の世帯はすべて、2回りも上の人たちばかりである。教わることばかりであった。そんな話をした。

もし、班長を引き受けなければ、近所の先輩たちから教わることはなく、自分が住む家の周囲の地域社会について知ることもなかっただろう。地域社会にはそのような人が少なくないはずだ。この日のような情報交換会が各地で開かれるようになったら面白いのではないか。新しい夢を描き始めた1日となった。

読売新聞、日本教育新聞で報道



「おやじ日本」13日に東京で

全国に4000以上ある「おやじの会」の全国連絡組織「おやじ日本」は13日、子どもを巡る環境の変化と保護者のかかわり方をテーマにしたパネル・ディスカッション「話そうじゃないか、おやじ！先生と」を東京都渋谷区の区立勤労福祉会館で開く。

「おやじ日本」の竹花豊理事長や池山世津子・渋谷区教育長のほか、現役の小中学校長らがパネリストとして参加。インターネット上のオンラインゲームや、都教委が見直しを決めた学校週5日制などについても議論を交わす予定。開催は午後2時からで定員は80人。参加無料。問い合わせは「おやじ日本」（03・3462・7113）へ。

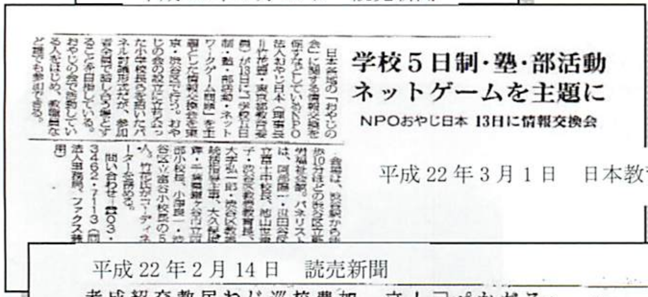
平成22年2月10日　読売新聞

先生は教育の限界知ろう

「おやじ日本」小・中校長や教委幹部と情報交換会

元PTA役員や医師らも交え、学校の事情、地域社会の事情について理解を深めた

平成22年2月8日　日本教育新聞



学校5日制・塾・部活動　ネットゲームを主題に

NPOおやじ日本　13日に情報交換会

平成22年3月1日　日本教育新聞

「おやじ」と先生　教育問題で議論

子育て世代の父親らで作る全国組織「おやじ日本」が13日、保護者の教育へのかかわり方をテーマにしたパネルディスカッション「話そうじゃないか、おやじ！　先生と」を渋谷区の区立勤労福祉会館で開いた。

都内の父親ら約70人が参加。「おやじ日本」の竹花豊理事長や都内外の小中学校の現職校長らが、教育を巡る課題について、「おやじ」たちと活発に議論を交わした。校長らは、地域住民が子供たちにそろばんを教える活動を進めたりする事例を紹介。「学校だけで教育は成り立たない」として保護者らに協力を求めた。

平成22年2月14日　読売新聞

～本のご紹介～

子どもの将来のこと

子どもとともに・・・

「新13歳のハローワーク」　「13歳の進路」

著者：村上龍　　出版社：幻冬舎

おやじ日本では、全国のおやじの会とその事業を支援しています

○◎●全国からの活動レポートを紹介●◎○

第3回愛知おやじサミット in 豊橋・・・・・・

平成22年1月30日(土)豊橋市公会堂にて開催された第3回愛知おやじサミット in 豊橋について愛知南陽ブロックおやじの会渡辺嘉郎さんからレポートを頂きましたので、ご紹介致します。
サミット会場には200名を超える愛知県内各地からのおやじが集い、大いに盛り上がりました。 おやじ日本からも8名の会員が参加し、愛知県内の熱いおやじ達の活動にエールを送りました。

基調講演要旨(講師:NPO 法人おやじ日本理事長 竹花 豊)

30年後はどんな時代だと思われますか？たぶん我々の育った時代とは違って非常に厳しい時代に今の子どもたちは生きていくことになるだろうと思います。その厳しい社会を生き抜かなければならない時代だろうと思います。日本企業のブランド力の低下や国債発行高などをみても我が国の衰退が見て取れます。失業者、自殺者、ニート、児童虐待、DV、児童買春などの問題が平成7−8年頃から起こっています。この様に我が国は内外の様々な危機を抱えて現在に至っています。この中で我々は子どもたちを育てているということをしっかりと見つめなければいけない。子どもたちが自分一人で生きていける様になるということを中心にしていろんな問題を考えていかなければなりません。

また、子どもたちの成長をさまたげる様々な問題が起こっていることも大人たちは考えておかなければなりません。例えばケータイ、ゲームなどのバーチャルな世界の問題、性の問題。我が国は、子どもの性を商売にしている人に対して最も規制の低い国です。

財団法人日本青少年研究所が行った調査の報告がありました。日本・米国・中国・韓国の中高生を対象にした調査報告です。その中で「私は人並みの能力があるか」という質問に対して、中学生では「とてもそう思う」という子どもは、日本では 13.0%に対して米国では 55.6%、中国では 49.4%、韓国は 7.6%でした。「まあそう思う」と考えている子どもは、日本は 40.4%、米国は 23.3%、中国は 35.2%、韓国は 66.1%でした。「とてもそう思う」「とまあそう思う」を足しますと、日本では 53.4%、米国は 78.9%、中国は 84.6%、韓国は 73.7%です。いかに日本の中学生が自分の能力について自信を持っていないかということが伺えるものと思います。高校生も同じ傾向であります。もう一つ、「自分はだめな人間だと思う」という問に対しては、中学生において「とてもそう思う」という子どもは、日本では 20.8%、米国は 4.7%、中国は 3.4%、韓国は 7.9%でした。「まあそう思う」では、日本では 35.2%、米国は 9.5%、中国は 7.7%、韓国は 33.8%でした。日本の子どもたちが自分の能力や自分に対してどうも不安を持っている。自信がないという状況が判ります。

結論を言いますとその一つは、我々の世代の人が、日本という国はどんな状況においても必ず良くなると思い込んでいたことがある様に思います。子どもたちが生きるこれからの時代は自分たちが生きている時代よりうんと良くなるという思い込みがあったのではないか。そのために、子どもたちに、これからの社会は君たちの個性を、能力を認めてくれる、そんな幸せな時代の中で生きていける、と思わせてしまったのではないかと思います。ゆとり教育、学校5日制といったものも、野放図な子どもたちのゲームやケータイ電話を簡単に持たせて来たことも、そうした大人社会の錯誤による子どもへの対応であったと思います。推薦入試というものがあります、その状況にびっくりしますが、我々は毎日勝負をして生きています。覚悟というものを子どもたちに教えていかなければいけないのに、推薦で高校や大学に入る、そして企業に入る、そこで初めてそんな甘いものではないということが判る、ついていけない、それがニートの存在を生み出した一つの要因です。我々は全体として子どもに厳しい社会で生きるということを伝え損ねてしまった。そうした反省を持って私たちはこれから子どもに対していけなければいけないのだと思います。

おやじ日本しまなみ準備会より・・・・・・

平成22年1月16日(土)、今治市住民センターにてフォーラムが開催されました。おやじ日本竹花理事長の講演が行われ、講演終了後、会場からは子どもたちを守るための具体的な行動など質問が続きました。また、フォーラム終了後の交流会では、おやじ日本ネットワーク推進担当の伊東副理事長とともに今後の活動について熱い議論が交わされました。

「広島に風を」～「おやじ日本広島」準備会報告～

（仮）代表世話人 牧師･臨床心理士 堀川 寛

去る２月２７日，広島市内のとある小料理屋の座敷に，何やら曰く因縁のありそうなおやじたちが集まった。その輪の中心にいたのは他ならぬおやじ日本の代表竹花豊氏その人である。竹花氏はかつて広島県警の本部長時代，暴走族対策の陣頭に立ち，荒れ狂う暴走族を壊滅させ，広島に静かな夜をもたらした大恩人である。その竹花氏が，今度は広島のおやじの力を結集して，子どもたちの育成に力を貸して欲しい，と訴えに来たのだ。その熱い思いを受け止めたのは，竹花氏と共にトイレ掃除で暴走族たちの更生に尽力した広島県警ＯＢの竹内光弘であった。竹内は，学校や公衆トイレの掃除を通して社会を変えていこうと活動を続けている仲間たちに，広島でもおやじの会を立ち上げようと呼びかけた。集まった面々は，県会議員，会社社長，弁護士，校長，警察官，NPO 代表，医師，歌手，などなど実に様々な職種の人々であったが，社会のため，そして子どもたちのために一肌も二肌も脱ごうと意気込んでいる「熱い」おやじたちであった。

広島のおやじたちを前に，竹花氏は「目に見える成果はすぐに出てこないかもしれないが，どんな形でも良いから『風』を起こし，子どもたちを取り巻いている暗雲を吹き払って欲しい。」と語った。もともと熱意と実行力のあるおやじたちからは，おやじ日本広島の立ち上げを待つのももどかしく，とにかく自分の持ち場で何かを始めようという積極発言が相次ぎ，座は大いに盛り上がったことは言うまでもない。

会のあり方や具体的な活動内容など，未知数のかたまりのような集まりではあるが，それぞれの思いを結集し，結束して歩み出すならば，必ず結実することを信じて，「おやじ日本広島」は立ち上がろうとしている。

↑事務局長竹内光弘さん

第７回全国大会に是非ご参加を！

「おやじたちの争点ー学校と家庭のコミュニケーションを深めるために」ˆ-学校五日制、塾、部活-
ますます厳しくなる次の社会を担う子どもたちに対する大人の責任を果たすために公教育の、根本問題を議論します。

内容：会場全員参加型パネルディスカッション

パネリスト　鈴木　寛氏　（文部科学省副大臣　調整中）
浅田　和伸氏　（品川区立大崎中学校長）
森上　展安氏　（森上教育研究所所長）
大宇　弘一郎氏（渋谷区教育委員会事務局統括指導主事）
竹花　豊　（おやじ日本理事長　東京都教育委員）

コーディネーター　早川　信夫氏　（NHK 解説委員）

会場（交渉中）：千駄ヶ谷区民会館　渋谷区神宮前 1-1-10（ＪＲ原宿駅徒歩８分　区立原宿外苑中学校側）

参加対象：学校　PTA　おやじの会　子どもの健全育成に関心のある方々　参加人数：300 名

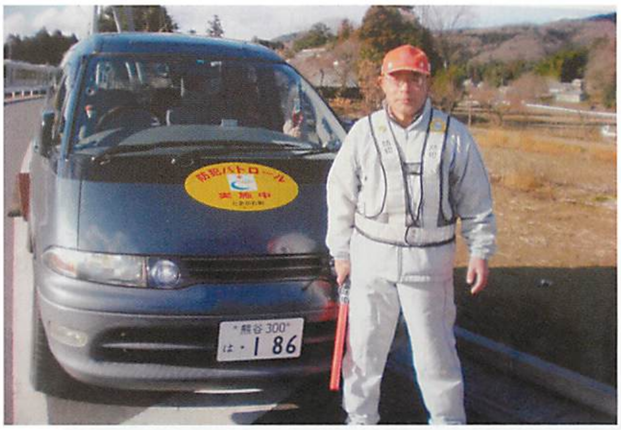
申込先：おやじ日本事務所
渋谷区神南 1-19-8　渋谷区立勤労福祉会館２階
電話＆ファックス　03-3462-7113　メール desk@oyaji-nippon.org

主催：特定非営利活動法人おやじ日本

共催（申請中）：渋谷区　（株）読売新聞　全国読売防犯協力会

○◎●８３運動推進中●◎○

埼玉おやじネットワーク関根行雄さんからのレポート



↑愛車でパトロール中の関根さん

ポスターの下に団体名やアピールを入れて、団体オリジナルのポスターを作ることが出来ます。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

埼玉県比企郡ときがわ町、人口13,077人（平成21年度現在）農業、林業、工業団地を抱え、高等学校「1」、中学校「2」、小学校「2」、高齢化および少子化の波は、若い方々の町外への移住と、急激な人口の減少、子どもたちの少なさに現われている。この現象は国家全体に、見られているのではないか。

しかしながら、数少ない子どもたちでも、約4K の「車両通行禁止区域の通学路」を「小学生」歩行通学、「中・高校生」は自転車通学で、毎日元気に通学を行っている。

私は、防犯活動、子どもたちの見守り運動に、午前7時～8時30分、午後2時30分～4時30分と、子どもたちとの色々な対話や、笑顔に励まされながら、「進入車両違反者」に悩まされ、折れそうになる気持ちを、子どもたちから元気の源をもらいつつ、今後も体力・気力が続く限り、国家の宝である子どもたちの、安心、安全の登下校と「交通事故撲滅」を念頭に置き、地域の仲間と警察官の支えのもとに、無理なく頑張りたいと思います。

○◎●子ども虐待防止のオレンジリボン運動に協力！●◎○

東京都児童虐待防止チーム「TOKYO ARANCIA」

悲惨な児童虐待のニュースが後を断ちません。

しかし、ニュースにもならず、誰にも知られることなく虐待という戦場を生きている子供たちが大勢います。私たちは、東京都の児童虐待防止チーム「TOKYO ARANCIA（アランチャ）」です。「ARANCIA」とは、イタリア語で「オレンジ」という意味です。これは、児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンに共鳴することを表しています。TOKYO ARANCIA は、特別な行動を期待しません。児童虐待という社会問題があるということを意識すること、そして、周りの子供に関心をもっていただくことを目指しています。

児童虐待問題は、親自身の性格上の問題、あるいは夫婦の不和などによる母親の家庭内での孤立といった家族関係の問題とされてきました。しかしながら、このような観点からの児童虐待対策がその発生を十分に防止することができませんでした。

そこで、地域における子育て支援による児童虐待の早期発見・早期対応が重要視されるようになってきました。

おやじ日本が進めている「83運動」は、児童虐待を地域における見守り、子育て支援により防止しようとする考え方と非常によくマッチしています。

そして、このたび、TOKYO ARANCIA におやじ日本のご協力をいただけることとなりました。地域で活躍するおやじの力は、私たちにとってこれ以上はないと言える強力なものです。

いま、地域が見えにくくなっていること（地域への無関心）が犯罪防止の上でも問題だと考えられるようになっています。これは、児童虐待防止にも同じことが言えます。このような時代の流れの中で、おやじ日本の活動はますます重要性を増していくことでしょう。

おやじの力は、地域を変えていくことができると確信しています。これから協働の輪を拡げていきましょう！

東京都福祉保健局　担当中村健児さんより

◇◆ 活動報告 ◆◇

☆平成 21 年度定例理事会

第 4 回定例理事会　3 月 6 日（土）

審議事項　平成 22 年度事業計画について
　　　　　平成 22 年度事業予算について

報告事項　総会に出席する正会員について
　　　　　第 7 回全国大会実行委員会開催について
　　　　　第 8 回全国大会山形大会
　　　　　情報交換会実施について
　　　　　全国のおやじの会への活動支援について
　　　　　その他

↑平成 21 年度 1 月度運営委員会
おやじ日本事務所にて

☆運営委員会

1 月度運営委員会　1 月 31 日（日）
情報交換会　第 7 回全国大会　第 8 回全国大会山形大会　iS 運動　83 運動　平成 21 年度第 4 回理事会　平成 22 年度活動に向けて　メーリングリスト・ホームページ整備　各地おやじの会報告　ニュースレター新年号発行　他

2 月度運営委員会　2 月 13 日（土）
第 7 回全国大会　平成 21 年度事業報告　平成 22 年度事業計画　平成 21 年度第 4 回定例理事会について　情報交換会　各地おやじの会報告　他

3 月度運営委員会　3 月 6 日（土）
平成 21 年度第 4 回定例理事会報告　第 7 回全国大会　財政検討委員会　第 8 回全国大会山形大会　iS 運動　83 運動　全国おやじの会報告　他団体連携　他

☆第 7 回全国大会実行委員会

第 1 回実行委員会　2 月 13 日(土)
企画　予算　実行委員名簿　プログラム　動員要請　その他

第 2 回実行委員会　3 月 20 日(土)
企画　準備スケジュール　実行委員名簿　プログラム　役割分担　当日スケジュール　動員要請　その他

☆その他会議

財政検討打ち合わせ　3 月 20 日(土)

◇◆ 今後の予定 ◆◇

第 7 回全国大会　第 3 回実行委員会　4 月 23 日(金)　午後 7 時～
平成 22 年度 4 月度運営委員会　4 月 25 日(日)午前 10:30～
第 7 回全国大会　第 4 回実行委員会　4 月 25 日(日)　午前 11:30～
平成 22 年度第 1 回定例理事会　5 月 15 日(土)午後 1 時～
平成 22 年度 5 月度運営委員会　5 月 15 日(土)午後 2 時～
全国大会実行委員会　5 月 15 日(土)午後 3 時～
第 7 回全国大会　6 月 20 日(日)午後 1 時 30 分～4 時 30 分　会場(交渉中)千駄ヶ谷区民会館
第 8 回全国大会山形大会　11 月 6 日(土)、7 日(日)　会場　山形国際ホテル

正会員・登録会員の皆様へ
平成 22 年度年会費につきまして、納入のご協力をお願い致します。また、ご賛助いただける皆様には大変お手数ですが、事務局までご連絡下さい。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

★83運動、アイエス運動などを各地域で実施されている方は、ぜひご連絡下さい。ニュースレター等で紹介させていただきます。
☆おやじ日本では、引き続き、正会員・登録会員・賛助会員を募集中です。申込みは事務局までお願いします。
★事務所は、原則として、月～金の午前10時～午後4時まで開いています。

【発行】　特定非営利活動法人おやじ日本
住所　〒150-0041　渋谷区神南1丁目19番8号　渋谷区立勤労福祉会館2階
電話&ファクス　03－3462－7113
ホームページ　http://oyaji-nippon.org/
会員用ブログ　http://blog.goo.ne.jp/oyaji-deban
事務局担当理事　小山　洋子　desk@oyaji-nippon.org
編集担当　丸山　容子　阿部　桃子

ここに記載の内容は全て無断転載を禁じます